



2027年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 日本精機株式会社

コード番号 7287

URL <https://www.nippon-seiki.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長
社長執行役員

（氏名） 永野 恵一

問合せ先責任者（役職名） 事業管理本部
執行役員

（氏名） 金子 基樹

（TEL）0258(24)3311

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期 第1四半期	83,252	9.2	2,191	44.0	3,206	70.9	1,503	102.5	1,517	116.2	4,319	—
2026年3月期 第1四半期	76,224	△0.2	1,522	△30.2	1,875	16.6	742	188.0	701	256.7	△1,244	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	26.40	26.37
2026年3月期第1四半期	12.24	12.22

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	345,280	235,808	233,565	67.6
2026年3月期	347,265	233,880	231,592	66.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		45.00	—	45.00	90.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	320,000	△2.4	14,000	20.4	10,000	21.6	191.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	58,471,299株	2026年3月期	58,471,299株
2027年3月期1Q	988,879株	2026年3月期	995,240株
2027年3月期1Q	57,459,504株	2026年3月期1Q	57,361,291株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する論旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
要約四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日～2026年6月30日）における経済環境は、国内においては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、物価上昇による消費者マインドの動向に加え、中東情勢や米国の通商政策、金融資本市場の変動が及ぼす影響については、引き続き注視する必要があります。海外においては、米国では緩やかな回復が続いているものの、中東情勢の緊迫化に伴う原油及びその関連製品の価格上昇が今後の景気動向に影響を及ぼす可能性があります。アジア地域では、中国は不動産市場の停滞を背景に景気の減速が緩やかに進んでいる一方、インドネシアでは緩やかな回復が続き、タイでは持ち直しの兆しが見られました。また、インドでは景気拡大が続いています。欧州では持ち直しの動きが見られるものの、他地域と同様に中東情勢の影響等について注視が必要な状況です。

このような環境下、当社グループは、中期経営計画（2025年3月期～2027年3月期）の最終年度に当たる当期において、環境変化に強い高収益体質への転換を目指し、以下の取り組みを推進しております。

- ① 四輪車用計器・ヘッドアップディスプレイにおける成長性と収益性の向上
- ② 新興市場における二輪車用計器の販売加速
- ③ イノベーティブな製品・サービス・ビジネスの創出
- ④ 資本収益性の改善

加えて、グローバル市場における競争の激化や地政学リスクの高まり等による事業環境の変化対応力を強化するため、サプライチェーン改革、業務プロセス改革および製品仕様の見直しなどの原価低減活動に継続して取り組むとともに、中長期的な企業価値の向上に向けてESG（環境・社会・ガバナンス）経営に取り組んでいます。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上収益は、83,252百万円（前年同四半期比9.2%増）、営業利益は、2,191百万円（前年同四半期比44.0%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、1,517百万円（前年同四半期比116.2%増）となりました。

売上収益は、海外関係会社向けの車載部品売上が減少したものの、アセアン、インドおよびブラジルにおける二輪車用計器の販売が引き続き堅調に推移したことに加え、ヘッドアップディスプレイの新機種立ち上げおよび販売増加により増収となりました。また、為替が円安に推移したことも増収に寄与しました。営業利益は、ヘッドアップディスプレイの増収効果に加え、原価およびコスト管理の徹底が寄与し、増益となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は、営業利益の増加に加え、前連結会計期間に計上した為替差損が当連結会計期間においては為替差益に転じたことなどにより、増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、従来「その他」に含めていた「ITソリューション事業」について、報告セグメントとして記載しております。また、従来報告セグメントとして記載していた「樹脂コンパウンド事業」については、「その他」に含めて記載しております。なお、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

車載部品事業はヘッドアップディスプレイの新機種立ち上げおよび販売増加に加え、為替影響が寄与し、売上収益は68,215百万円（前年同四半期比9.3%増）、営業利益は1,848百万円（前年同四半期比104.3%増）となりました。

民生部品事業は、空調・住設機器コントローラー等の販売は前年同期並みで推移したものの、為替が円安に推移したことから、売上収益は3,439百万円（前年同四半期比3.4%増）、営業損益は、円安の進行により海外子会社からの製品輸入コストが増加したことが影響し、366百万円の営業損失（前年同四半期は66百万円の営業利益）となりました。

自動車販売事業は、新車・中古車の販売増加が寄与し、売上収益は6,712百万円（前年同四半期比6.0%増）、営業利益は302百万円（前年同四半期比31.1%増）となりました。

ITソリューション事業は、民間企業向けの売上が増加したことから、売上収益は1,544百万円（前年同四半期比22.0%増）、営業利益は174百万円（前年同四半期比61.7%増）となりました。なお、当第1四半期連結累計期間より、ソフトウェアの開発販売、受託計算等を報告セグメントとして開示しております。

その他は、売上収益は3,340百万円（前年同四半期比15.1%増）、営業利益は312百万円（前年同四半期比8.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産については、その他の流動資産の減少等により、前連結会計年度末と比較して1,984百万円減少し、345,280百万円となりました。

負債については、借入金の減少等により、前連結会計年度末と比較して3,912百万円減少し、109,472百万円となりました。

資本については、その他の資本の構成要素等の増加により、前連結会計年度末と比較して1,927百万円増加し、235,808百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月15日発表の業績予想を据え置いております。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測が含まれております。主要市場における需要動向、為替相場等に不透明な面があり、実際の業績が記載の見通しと異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

また、当社は、2026年4月20日付で公表いたしました「東洋電装株式会社の株式取得（子会社化）についての株式譲渡契約締結に関するお知らせ」のとおり、四輪車・二輪車向けスイッチ類の製造・販売を手掛ける東洋電装株式会社を、2027年3月期中に完全子会社化する予定であります。その時期が確定していないため、上記2027年3月期通期の連結業績の見通しにはその影響を考慮しておりません。同社の完全子会社化に伴う連結業績および財政状態に与える影響につきましては、今後、判明次第速やかに開示いたします。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2026年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	51,922	52,742
営業債権及びその他の債権	50,709	48,371
その他の金融資産	13,179	12,022
棚卸資産	95,690	96,188
その他の流動資産	14,691	12,425
流動資産合計	226,193	221,750
非流動資産		
有形固定資産	82,163	83,036
のれん及び無形資産	5,632	5,078
その他の金融資産	26,614	28,542
繰延税金資産	6,301	6,535
その他の非流動資産	360	336
非流動資産合計	121,071	123,530
資産合計	347,265	345,280

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2026年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	50,456	52,470
借入金	11,309	6,456
その他の金融負債	2,030	1,605
未払法人所得税等	4,962	4,474
短期従業員給付	6,426	6,629
引当金	244	231
その他の流動負債	4,368	4,092
流動負債合計	79,799	75,961
非流動負債		
借入金	15,137	13,550
その他の金融負債	4,336	4,366
長期従業員給付	4,673	4,780
引当金	437	439
繰延税金負債	8,686	10,125
その他の非流動負債	314	249
非流動負債合計	33,585	33,510
負債合計	113,384	109,472
資本		
資本金	14,494	14,494
資本剰余金	3,836	3,827
利益剰余金	158,795	158,014
自己株式	△1,296	△1,288
その他の資本の構成要素	55,762	58,517
親会社の所有者に帰属する持分合計	231,592	233,565
非支配持分	2,288	2,243
資本合計	233,880	235,808
負債及び資本合計	347,265	345,280

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上収益	76,224	83,252
売上原価	△65,987	△71,599
売上総利益	10,236	11,652
販売費及び一般管理費	△8,863	△9,366
その他の収益	210	143
その他の費用	△62	△238
営業利益	1,522	2,191
金融収益	602	1,099
金融費用	△249	△85
税引前四半期利益	1,875	3,206
法人所得税費用	△1,133	△1,702
四半期利益	742	1,503
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	701	1,517
非支配持分	40	△13
四半期利益	742	1,503
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	12.24	26.40
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	12.22	26.37

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期利益	742	1,503
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の利得及び損失	42	1,416
純損益に振り替えられることのない項目合計	42	1,416
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△2,029	1,400
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△2,029	1,400
税引後その他の包括利益	△1,986	2,816
四半期包括利益	△1,244	4,319
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△1,223	4,272
非支配持分	△20	47
四半期包括利益	△1,244	4,319

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の利得及び損失	確定給付負債(資産)の純額の再測定
期首残高	14,494	5,395	154,320	△1,445	8,542	-
四半期包括利益						
四半期利益	-	-	701	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	42	-
四半期包括利益合計	-	-	701	-	42	-
所有者との取引等						
配当	-	-	△1,434	-	-	-
自己株式の取得	-	-	-	△0	-	-
自己株式の処分	-	-	-	-	-	-
所有者との取引等合計	-	-	△1,434	△0	-	-
期末残高	14,494	5,395	153,588	△1,445	8,584	-

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計		
	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	35,388	43,930	216,694	3,536	220,230
四半期包括利益					
四半期利益	-	-	701	40	742
その他の包括利益	△1,968	△1,925	△1,925	△61	△1,986
四半期包括利益合計	△1,968	△1,925	△1,223	△20	△1,244
所有者との取引等					
配当	-	-	△1,434	△55	△1,489
自己株式の取得	-	-	△0	-	△0
自己株式の処分	-	-	-	-	-
所有者との取引等合計	-	-	△1,434	△55	△1,489
期末残高	33,420	42,005	214,037	3,459	217,496

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の利得及び損失	確定給付負債(資産)の純額の再測定
期首残高	14,494	3,836	158,795	△1,296	9,594	-
四半期包括利益						
四半期利益又は損失(△)	-	-	1,517	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	1,416	-
四半期包括利益合計	-	-	1,517	-	1,416	-
所有者との取引等						
配当	-	-	△2,299	-	-	-
自己株式の取得	-	-	-	△0	-	-
自己株式の処分	-	△8	-	8	-	-
所有者との取引等合計	-	△8	△2,299	8	-	-
期末残高	14,494	3,827	158,014	△1,288	11,010	-

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計		
	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	46,168	55,762	231,592	2,288	233,880
四半期包括利益					
四半期利益又は損失（△）	-	-	1,517	△13	1,503
その他の包括利益	1,338	2,754	2,754	61	2,816
四半期包括利益合計	1,338	2,754	4,272	47	4,319
所有者との取引等					
配当	-	-	△2,299	△92	△2,391
自己株式の取得	-	-	△0	-	△0
自己株式の処分	-	-	0	-	0
所有者との取引等合計	-	-	△2,299	△92	△2,391
期末残高	47,506	58,517	233,565	2,243	235,808

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,875	3,206
減価償却費及び償却費	3,443	3,446
減損損失	3	66
受取利息及び受取配当金	△602	△730
支払利息	85	85
固定資産売却損益(△は益)	△2	△14
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	4,981	2,996
棚卸資産の増減額(△は増加)	△372	79
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	4,101	576
引当金の増減額(△は減少)	2	△13
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	60	130
為替差損益(△は益)	△435	208
その他	4,340	4,113
小計	17,483	14,152
利息及び配当金の受取額	521	734
利息の支払額	△33	△73
法人所得税の支払額	△1,328	△2,767
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,642	12,044
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	3,049	1,255
有形固定資産及び無形資産の取得による 支出	△3,353	△3,657
有形固定資産及び無形資産の売却による 収入	90	81
投資有価証券の取得による支出	△163	-
投資有価証券の売却による収入	-	100
貸付けによる支出	△1	△2
貸付金の回収による収入	1	1
その他	△0	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△378	△2,220

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△6,186	△4,700
長期借入金の返済による支出	△1,906	△1,739
リース負債の返済による支出	△463	△444
非支配持分への配当金の支払額	△29	△170
自己株式の純増減額(△は増加)	0	△4
配当金の支払額	△1,435	△2,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,021	△9,359
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29	355
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,212	820
現金及び現金同等物の期首残高	35,305	51,922
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,517	52,742

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含めていた「ITソリューション事業」については、重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。また、経営管理区分の変更に伴い、「その他」に含めていた車載部品事業向けソフトウェア開発については、「車載部品事業」に含めて記載しております。一方、報告セグメントとして記載していた「樹脂コンパウンド事業」については、重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて記載しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結損 益計算書 計上額 (注) 3
	車載部品 事業	民生部品 事業	自動車 販売事業	ITソリュ ーション 事業	計				
売上収益									
外部顧客への売上 収益	62,400	3,326	6,330	1,265	73,322	2,901	76,224	—	76,224
セグメント間の内 部売上収益又は振 替高	—	—	3	701	705	1,669	2,374	△2,374	—
計	62,400	3,326	6,334	1,967	74,028	4,571	78,599	△2,374	76,224
セグメント利益	904	66	230	108	1,310	287	1,598	△76	1,522
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	602
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	△249
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	1,875

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、樹脂コンパウンド、貨物運送等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△76百万円は、未実現利益消去等であります。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結損 益計算書 計上額 (注) 3
	車載部品 事業	民生部品 事業	自動車 販売事業	ITソリュ ーション 事業	計				
売上収益									
外部顧客への売上 収益	68,215	3,439	6,712	1,544	79,912	3,340	83,252	—	83,252
セグメント間の内 部売上収益又は振 替高	—	—	5	806	811	1,435	2,247	△2,247	—
計	68,215	3,439	6,717	2,350	80,723	4,776	85,500	△2,247	83,252
セグメント利益又は 損失(△)	1,848	△366	302	174	1,959	312	2,272	△80	2,191
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	1,099
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	△85
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	3,206

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、樹脂コンパウンド、貨物運送等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△80百万円は、未実現利益消去等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。